

# 「こども・未来プラン後期計画」の 実施状況について

平成25年11月11日

# 1. こども・未来プラン後期計画について

## 基本理念

次代を担う子ども・青少年がひとりの人間として、尊重され、創造性に富み、豊かな夢をはぐくむことができる大阪

これを実現するため、3つの「基本方向」と7つの「子育て目標」を設定。それぞれの目標を達成するための重点施策と子育て環境の改善度合いを計るための総合指標（アウトカム指標）と、個別指標（アウトプット指標）を設定しています。

基本方向	子育て目標	重点施策	アウトカム	アウトプット
安心して、喜びをもって子どもを生み、育てることができる社会づくり	安心して出産	1	5	9
	いきいき子育て	3	7	39
子どもが大切にされ、健やかに心豊かに成長できる社会づくり	一人ひとりを大切にする	5	9	43
	がんばりを応援	7	9	35
	豊かな心を育む	3	4	15
青少年が自立した個人として、夢と創造性を育むことができる社会づくり	自ら決める力を養う	2	3	9
	自立し、次代を担う大人へ	3	1	8

## 2. 重点施策の取組状況について(1)

こども・未来プラン後期計画では、7つの子育て目標を達成するために、24の重点施策を掲げて取組を進めていますが、計画策定から3年を経過しており、現時点での取組状況を整理しました。

これまでの取組によって、一定の効果があがっている一方、残された課題もあり、引き続き取組を進めていく必要があります。

### 安心して出産

#### 1 母子医療・母子保健体制を充実

- 安心して出産できる体制整備は概ね確保
- いわゆる「飛び込み出産」は増加傾向であり、「にんしんSOS」の啓発や関係機関との連携強化が必要

### いきいき子育て

#### 2 保育・子育て支援サービスの充実

- 保育所入所枠は、計画どおりに拡大
- ★ 待機児童数や待機児童を有する市町村数は増加傾向
- ★ 夜間・休日や病児病後児保育は目標達成が見込めない

#### 3 学校・家庭・地域が連携した教育コミュニティづくり

- ◎ 学校支援地域本部等による学校支援活動は全中学校区で実施
- ★ 家庭教育支援に関する人材育成や親学習の機会の増加、周知は一層の推進が必要
- ◎ 「おおさか元気ひろば」は概ね9割の小学校で実施され、地域での安心安全な活動場所を確保

#### 4 小学校を核とした地域力の再生

- ◎ 小学校の芝生化等を通じ地域住民の交流・活動拠点を整備
- ★ 地域の取組の格差やマンパワー不足等の課題は、今後、防犯・防災・まちづくり等の事業を通じた解決が必要

### 一人ひとりを大切にする

#### 5 地域における防犯活動と非行防止活動

- ◎ 子どもの安全確保のための住民ネットワークは充実
- 非行防止活動のネットワーク構築は計画通り推移
- ★ 未構築市町村への働きかけや活動活性化への支援が必要

#### 6 安心で安全な学びの場づくりの推進

- ◎ 全小学校で警備員等安全体制の整備を実施
- 府立学校の耐震化は目標を前倒して実施

#### 7 障がい児の地域生活支援

- 地域生活支援について、発達障がい児の療育支援等をはじめ、計画通り推移
- ★ 地域における居場所づくりは、市町村に温度差があり目標達成が困難

#### 8 児童虐待防止ネットワークと各機関の連携強化

- 府、市町村、関係機関の連携は強化
- ◎ 啓発活動等により、府民意識が高まったことも有り通告や相談対応件数が増加
- ★ 早期発見や予防の観点の取組を引き続き強化

#### 9 社会的養護の充実

- ★ 施設での家庭的な養護体制と里親委託を引き続き推進

※項目中の◎、○、★印は、それぞれ対応する事業（個別指標）の進捗状況を示しています。次頁も同じ。  
「◎：目標達成、又はメドがついた」、「○：着実に進んでいる」、「★：計画どおり進んでいない」

## 2. 重点施策の取組状況について(2)

### がんばりを応援

#### 10 小・中学校における学力向上

- ★ 学力向上の取組は充実するも、目標未達成のため、これまでとは異なる対応が必要
- 家庭学習について、計画的に勉強する児童が増加

#### 11 府立高校の充実

- 全高校での個性化を図り、教育の質を向上
- ◎ 府立高校（全日制の家庭）の中退率は改善

#### 12 支援教育の充実

- ◎ 府内4地域で知的障がい支援学校の新校を整備
- ◎ 高等学校でともに学ぶ取組として、自立支援推進校・共生推進校を計画的整備

#### 13 子どもたちの健康と体力づくりの推進

- ★ 体力・運動能力は依然として全国平均に及ばない

#### 14 熱意ある人材確保及び教員の力の向上

- ◎ 授業力向上の取組により、授業がわかるとする子どもの割合は増加

#### 15 学校の組織力とチーム支援の強化

- ◎ 高等学校の課題に応じた支援チームを設置し課題に対応

#### 16 公私立高校生セーフティネット

- ◎ 経済的理由で高校就学を断念することのないよう、大阪府独自のセーフティネットを構築

### 豊かな心を育む

#### 17 豊かな心をはぐくむ取組の充実

- ★ こころの再生府民運動は認知度が低く、子どもを中心に学校、家庭、地域とつながる取組の推進が必要
- ◎ 人権教育や障がい者理解等は、取組が充実

#### 18 責任を持って行動できる大人への育成支援

- いじめや暴力、人権侵害事象の根絶を目指して取組を継続

#### 19 文化を通じた次世代育成

- 芸術文化に触れる機会の提供や、出かける博物館による歴史文化の教育は充実

### 自ら決める力を養う

#### 20 職業教育の推進

- 産学接続コースの対象分野を拡大し多様な職業教育を提供

#### 21 障がい児の就労支援・障がい者の雇用促進

- 支援学校の知的障がい者高等部卒業生の就職率は大幅に向上するも目標達成は厳しい状況
- 企業の障がい者雇用を促進するための取組を継続して実施

### 自立し、次代を担う大人へ

#### 22 若年無業者（ニートの支援）

- ◎ 大阪若者サポートステーションを中心に就労や自立を支援

#### 23 若者の就職支援～JOBカフェOSAKA～

- 就職活動のアドバイスやカウンセリング等の一人当たり対応時間を延ばし、ニーズに応じた就職支援を実施（JOBカフェOSAKAは平成25年9月以降OSAKAしごとフィールド内JOBカフェコーナーとして運営）

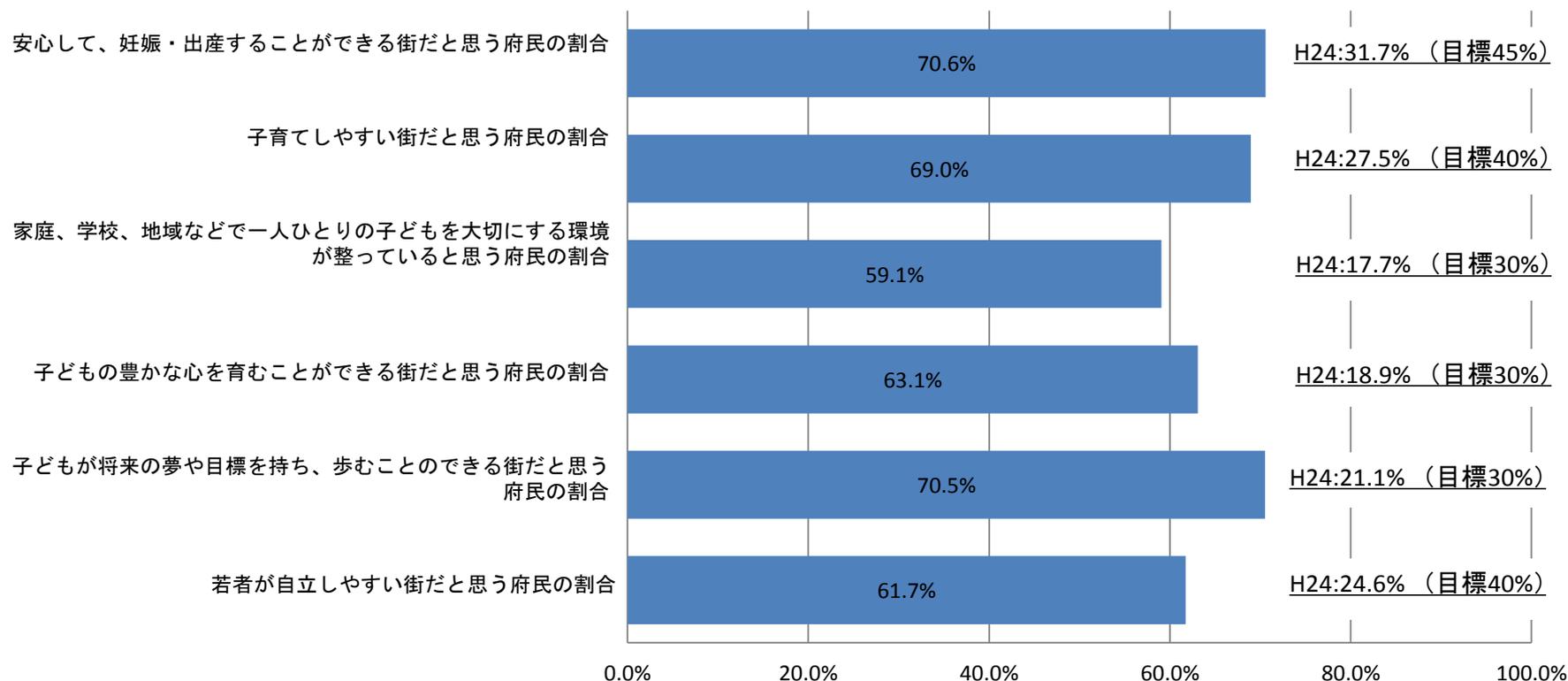
#### 24 市町村と連携した地域支援ネットワーク

- ★ 課題を有する青少年に対する地域支援ネットワークの構築については、府内10か所のエリアごとに連携体制の構築を推進
- ★ ひきこもり支援に対する市町村の取組の格差を解消するため、積極的な働きかけが必要

### 3. 府民意識の状況について(1)

こども・未来プラン後期計画では、7つの子育て目標のアウトカム指標の中に、府民の意識に関する指標を設定しています。計画策定から3年を経過した平成24年度の数値は、目標（平成26年度）に対して概ね6割程度の達成割合となっています。推移については、平成23年度までは上昇傾向であったものが、平成24年度には全ての項目が下降しています。

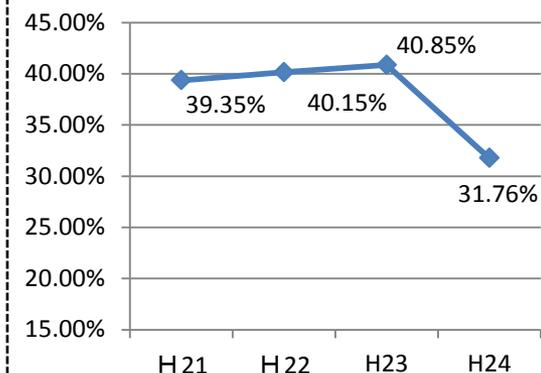
#### 府民意識に関する指標目標に対する達成状況(平成24年度末時点)



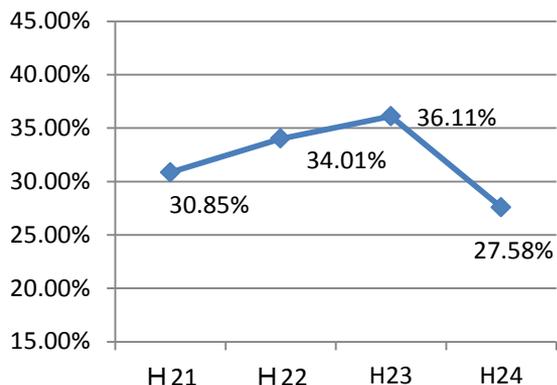
### 3. 府民意識の状況について(2)

#### 府民意識に関する指標の推移(各年度末時点)

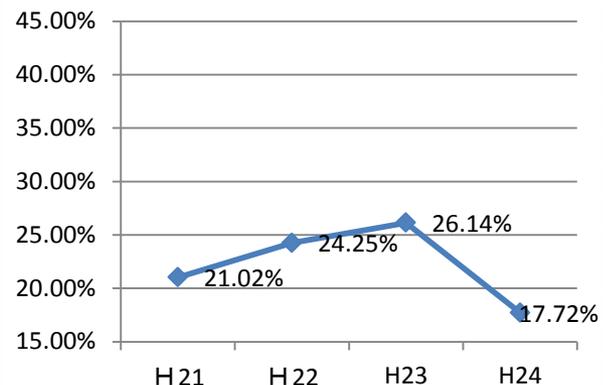
安心して、妊娠・出産することができる街だと思う府民の割合



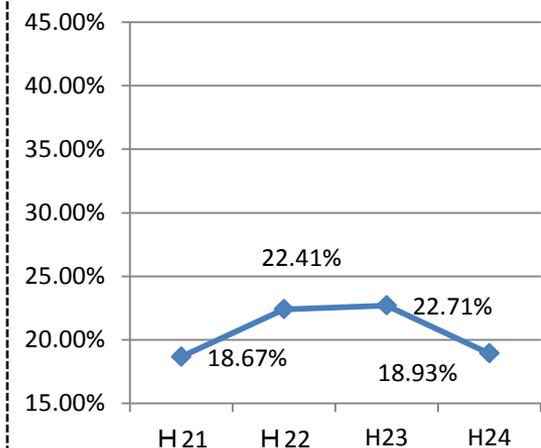
子育てしやすい街だと思う府民の割合



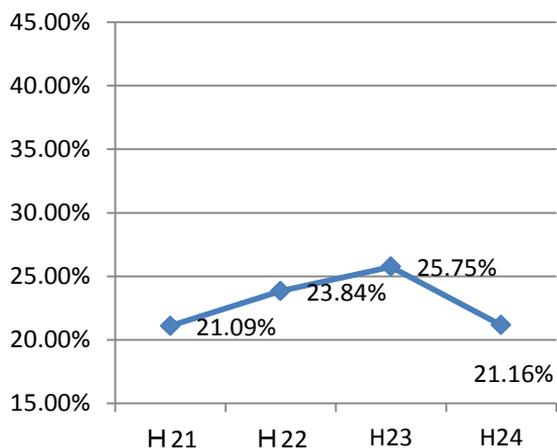
家庭、学校、地域などで一人ひとりの子どもを大切にする環境が整っていると思う府民の割合



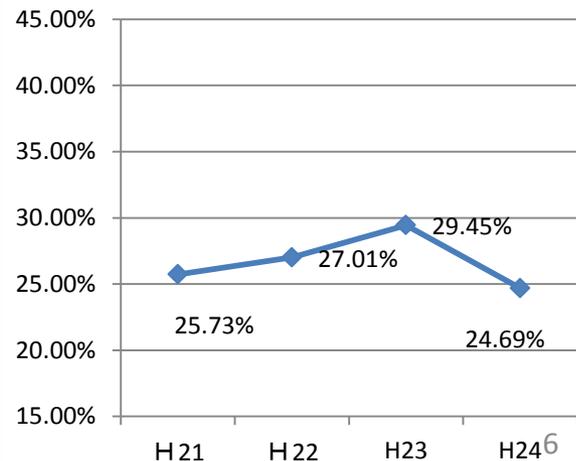
子どもの豊かな心を育むことができる街だと思う府民の割合



子どもが将来の夢や目標を持ち、歩むことのできる街だと思う府民の割合



若者が自立しやすい街だと思う府民の割合



## 4 目標数値の達成状況について

基本方向	子育て目標	達成状況※	
		アウトカム(総合指標)	アウトプット(個別指標)
安心して、喜びをもって子どもを生み、育てることができる社会づくり	安心して出産	2/5 (40.0%)	10/11 (90.9%)
	いきいき子育て	2/7 (28.6%)	38/53 (71.7%)
子どもが大切にされ、健やかに心豊かに成長できる社会づくり	一人ひとりを大切にする	5/9 (55.6%)	45/62 (72.6%)
	がんばりを応援	2/9 (22.2%)	50/78 (64.1%)
	豊かな心を育む	2/4 (50.0%)	21/29 (72.4%)
青少年が自立した個人として、夢と創造性を育むことができる社会づくり	自ら決める力を養う	0/3 (0%)	8/14 (57.1%)
	自立し、次代を担う大人へ	0/1 (0%)	8/10 (80.0%)
指標合計		13/38 (34.2%)	180/257 (70.0%)

※達成状況は、「目標達成済み」「達成見込み」「順調に推移」の合計です。

### ◇アウトプット(個別指標)

この3年間の取組で、概ね6割程度の指標が目標達成(見込みを含む)となっています。子育て目標のうち、「安心して出産」については、11指標中、10指標が既に目標数値達成となっています。

### ◇アウトカム(総合指標)

子育て目標のうち、主に就学前の子どもを対象とした「いきいき子育て」や青少年に関する指標が、厳しい状況です。待機児童が増加傾向であることや、ひきこもり等の課題を有する青少年の問題の深刻化などが、総合指標の推移に影響しているものと考えられます。

新たな子ども総合計画(仮称)では、「若者の自立」を基本方向の起点としていることや、待機児童の解消や就学前の保育・教育の一体的な提供は、子ども・子育て新制度の中心であることから、後期計画の目標達成に向けて、継続して取り組むとともに、次期計画においても効果的な施策を検討する必要があります。